

1 5 総合的な学習の時間

(総合主任)

学校の教育目標	21世紀の日本・世界の担い手として、校訓「正しく・強く・美しく」の下、人間尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた子供の育成に努める。
めざす子供	ア 学ぶ喜びを知り、確かな学力を身につけ、自ら考え、判断し、実践する子 イ 礼節を重んじ、自らを律し、他者を尊重する心豊かな子 ウ 命を大切にし、心や体を鍛え、たくましく生きる子

目標	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、事故の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。
めざす子供	活動などを通して、自己を正しく見つめ自分をよりよくしていく子供

総合的な学習の時間で身につけたい力

求める力		低学年 (生活科として)	中学年	高学年
・学習への主体的、創造的な態度 ・課題設定能力	自分の周りのことに関心をもち、調べてみたいことや問題を見つけ、問題解決のための方法を考え、活動を見通す力	身近なことや自分のことに関心をもち、やってみたいことを見つけている。	地域や身の回りから、体験活動を通して、思ったことや疑問点などを出し合い、課題を見つけている。	社会とかかわり、自分から進んで課題を見つけている。
・問題解決能力 ・情報活用能力	問題を解決していくための情報を集め、その中から必要なものを選び出し、活用していく力	身の回りから観察したり、探したり、周りの人から聞き取ったりしている。	自分の課題追究のために、聞き取りや本、新聞やインターネットなどを使って調べている。	自分なりの課題を、身近な地域の人々とかかわり、インターネットや資料活用を通して、広く多様な方法で調べている。
・学び方、ものの考え方 ・コミュニケーション能力	自分の体験や調べたこと、思いや願いを、適した内容や方法を考え、発信したり伝えたりしていく力	自分の思いや感想を取り入れて、書いたり話したりしている。	調べたことを分かり易くまとめている。相手に分かり易く、自分の言葉で意見を言っている。	自分が追究して明らかになったことを相手に納得させるような方法で表現したり、意見交換・情報交換をしたりしている。
・コミュニケーション能力	友達や自分とは違う立場の人とも協力し、活動する中で、対象(人・こと・もの)への関わりや働きかけを強めていく力	身近な人や友達、家族などに自分からかかわることをしている。	友達と協力して活動し、お互いの意見を交換し合っている。	自分の考えを友達に伝え、友達の考えを理解し、自分の考えを深めている。
・自己や他者を理解し、共感する力	他者との比較をする中で、自分らしさを知ると共に、他者とのさまざまな考えや行動を認め理解する力	障害を有する児童や異学年の児童との交流を通して、他者との違いに気づく。	他者の個性を尊重し、交流をする中で、共に協力しようとしている。	障害や年齢で差別することなく、共存するにはどのような社会にすべきか考えている。

各教科との関連
 ・各教科で培った力を総合的な学習の時間で発揮してさらにその力を伸ばす。
 ・総合学習で身につけた力を教科学習に生かしていく。

家庭・地域との連携
地域から学ぶ
 (地域の自然環境・文化財の教材化、人材の活用)
地域で学ぶ
 (校外学習・場面設定)
ゲストティーチャーの活用
保護者の協力体制
家庭・地域への発信
 (学校だより・授業参観・ホームページ)

	学年テーマ	環境教育	合計
3年	自然・地域 「本宿の自然を守ろう」 20時間	エコ活動をしよう 15時間	35時間
4年	自然・環境 「本宿0プロジェクト」 20時間	エコ活動をしよう 15時間	35時間
5年	福祉 「だれもが住みやすい町 本宿」 55時間	エコ活動をしよう 15時間	70時間
6年	防災 「守ろう命！いま私たちにできること」 55時間	エコ活動をしよう 15時間	70時間

評価
〈評価規準のプロセス〉
 ① 身につけたい力に基づいた年間指導計画
 ② 具体的な単元設定と子供の意識を見通した学習展開の構想
 ③ 単元を通して身につけたい力の設定
 ④ 具体的に育てたい力の評価規準の作成と評価方法
 ⑤ 評価計画(どの段階でどの評価をするか)
〈評価方法〉
 ・発表やプレゼンテーション
 ・話し合い、学習や活動状況
 ・自己評価カードや学習の記録
 ・教師や地域の人々等による他者評価

〔地域の関連教材〕 岡崎特別支援学校、人間環境大学、本宿幼稚園、本宿保育園、郵便局、本宿駅、欣浄寺、衣文観音、神明社、中央公園、緑西公園、三本松公園、大幡農村公園、大池、猿田池、上衣文イテゴハウス、東山、鉢地川、青木川、筋川、旧東海道、国道一号、本宿商店街、東山ランド